

2022年度 公益社団法人乙訓青年会議所  
理事長所信

公益社団法人乙訓青年会議所  
理事長予定者 田中 望麻

## はじめに

今、私たちは本当に地域から必要とされる運動を展開できているでしょうか。

歴史文化と自然が調和する長岡京市、向日市、大山崎町の二市一町で形成された人口約15万人の乙訓地域は、各地域の特性に加え、都市開発などの新たな社会基盤の確立から、住みやすい地域として人口も緩やかに増加し発展を遂げてきました。しかし、日本全体が直面する人口減少、超高齢社会による経済危機や気候変動、環境汚染などの様々な社会問題は、この地域においても目の前にまで迫ってきている現状です。時代の変化が激しく、社会問題も多様化、複雑化する今、私たちは本当に地域から必要とされる運動を展開できているのでしょうか。さらに、2020年から全世界に猛威を振るい社会的、経済的に多大な影響をもたらしているパンデミックは、誰もが経験したことのない試練を私たちに与えました。現在においても、先の見えない不透明な社会情勢に疲弊し、輝きを失った企業や苦悶している人々も少なくありません。しかし、戦後の混乱期、戦争の傷跡が地域や人々の心に深く残る中でも日本の再建を目指し、情熱と志を同じくした若き青年によって始まりを告げた青年会議所運動の原点のように、今こそ私たちは未来を切り拓き、地域を照らす希望の光とならなければなりません。

乙訓青年会議所は、1979年「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、14名の若き青年の情熱と高い志によって全国で659番目の青年会議所として誕生致しました。先輩諸兄姉は地域の発展に向け、その時代に即した運動を展開してこられ、その情熱と功績は組織の誇りとして永続的に継承されています。私たちは、組織への誇りを次代へ継承するとともに、急激な社会環境の変化に適応できる柔軟な思考と迅速な対応力で、より質の高い運動を展開できる新たな組織体制を確立する必要があります。さらに、自立した地域の発展を目指し、青年会議所にしかできない大胆な政策と、私たちにしかできない行動力で経済、社会、環境に好循環が生まれる持続的なまちづくりを推進することができれば、地域に住まう人々が幸せを実感できる明るい豊かな未来へとつながるでしょう。

地域から真に必要とされる組織となり、自己満足の運動で終わらせるのではなく、地域に確実な成果が生まれる運動を展開し、幸せな未来のカタチを描いてまいりましょう。

## 幸せをカタチに ～地域に輝きを 組織に情熱を～

幸せの定義とは人の価値観や環境によって異なります。しかし、いつの時代も人は誰もが幸せ

になりたいと願っています。誰もが幸せな社会とは、そこに住まう全ての人がキラキラと輝き、笑顔で溢れている社会に違いありません。また、そのような幸せな社会を目指し、多くの仲間と地域の発展に情熱を注ぎ、目指すべき未来に手を取り合って挑戦し続ける組織は必ずキラキラと輝いている組織であると考えます。しかし、新型コロナウイルスの影響により、日々の生活環境だけでなく、私たちの活動は大きな転換期を迎えました。様々なシステムがオンライン化し、時間効率や業務効率の向上など利便性は高まった反面、対面での交流ができず、地域や仲間との絆の希薄化に伴い、地域への影響力が低下したことも事実です。しかし、どのような時代においても、私たちは地域のために行動し続ける組織として、運動を止めることなく遂行し、地域に持続的な成果を生み出していかなければなりません。

本年度、私たちは「幸せをカタチに～地域に輝きを 組織に情熱を～」をスローガンに掲げ、全ての人々が輝き、幸せを実感できる地域の実現を目指し活動してまいります。

時代は利益を目的とする「競争」から、社会の課題解決を目的とする「共創」へと変化し、地域においても、「共創」から生まれる新たな価値こそ、地域独自の発展を遂げていく重要な基盤です。私たちは、改めて地域との関わりを再定義し、様々なパートナーとともに地域に好循環が生まれる持続的な運動を推進してまいります。また、時代の急激な変化を進化の起点とし、時代に即した組織へと進化するためにも、今までの固定観念や先入観を捨て、現代社会の多様な価値観から培われた柔軟な思考で相乗効果を生み出す新たな組織の基盤を確立致します。そして、熱い情熱と仲間を信じる純粋な心を集結させた真に輝く組織となり、地域の持続的な発展に向けた独自の政策を打ち出していくことで、地域に確かな成果が生まれ、全ての人々が輝く幸せな未来を築くことができると信じています。

未来に向けた新たな一歩を踏み出し、キラキラと輝き続ける幸せな地域を実現してまいります。

## 真に輝き続ける組織の発展

現在、全国における青年会議所の約60%が29名以下で構成されており、会員数の減少は乙訓青年会議所だけでなく、青年会議所全体として危機的状況に直面しています。さらに、新型コロナウイルスの影響により社会的、経済的に被害を受けている企業も多く、今後会員数はさらに減少傾向にあると懸念されています。会員数減少による事業規模の縮小は、地域への影響力が低下するだけでなく、会員が成長する機会も減少してしまいます。組織の存続が難しく消滅した青年会議所も存在しており、このままでは近い将来、乙訓青年会議所も存続の危機が訪れます。しかし、全国にはこのような状況下においても、会員拡大を成功させている青年会議所も存在します。私たちは、その違いや本質を追求し、できない言い訳を並べるのではなく、できる可能性を見出していく必要があります。そして、地域への影響力を高めるためにも、今こそ会員一人ひとりが改めて拡大の意義を理解し、本気で会員拡大を推進していかなければなりません。

青年会議所活動には無限の可能性が存在し、入会することで実感できる組織の魅力や価値を

伝える機会は数多くありますが「誰かの役に立ちたい」「仲間は多いほうが楽しい」「この人と一緒に活動したい」など、シンプルで純粋な想いの総和こそ、拡大推進への情熱を奮い立たせるものだ

と確信致します。本年度は、会議体として全会員で会員拡大を行うために、拡大推進事業を全委員会が担当し、情熱から生まれる大胆な行動力と新たな戦略で会員拡大に挑戦致します。また、新たに入会して頂いた会員も青年会議所の理念や存在意義に共感し、積極的に活動する意識が醸成することで、組織にも好循環が生まれ、組織の持続的な発展につながります。さらに、本年度はブロック大会の主管を乙訓青年会議所が務めます。歴史に刻まれる最高のブロック大会にするためにも、1人でも多くの会員を拡大し、仲間とともに地域により大きなムーブメントを起こします。

目標を完遂する確固たる意志で会員拡大を成功させ、多くの仲間とキラキラと輝き続ける組織を確立させてまいりましょう。

### **幸せが生まれる持続可能な地域社会の創造**

大量生産、大量消費などのグローバル経済から成長を遂げた時代は終わりを告げ、その代償として近い将来、自然環境が維持できなくなるとともに人口減少、超高齢化による経済危機も大きな課題となっています。新たな社会に求められていることは、地域資源を効率よく循環させ、持続可能な社会へとつなげる「循環型社会」に加え、経済、社会、環境に好循環を生み出す「循環経済」の推進です。地域においても、SDGsの指標をもとに循環経済を推進し、独自の成長戦略から地域に幸せが生まれる持続可能な地域社会を創造していく必要があります。

私たちは、これまで行ってきた事業や成功モデルを基盤とし、新たな運動へと進化させるために、地域の課題を新たな可能性と捉え、独自の魅力を最大限に活かした新たな地域モデルを創造致します。まず、新たな1年のはじまりとし、本年度私たちが推進する具体的な政策や運動の方向性を会員だけでなく、市民、行政、諸団体に発信する機会を創出致します。そして、私たちが目指す全ての人が輝く幸せな未来に共感して頂き、今後の活動へのさらなる支援や協力につなげる関係を構築致します。さらに、地域の本質的な課題解決への具体的な政策を推進できる環境を構築し、これまでの地域諸団体、行政に加え、新たなパートナーと連携するとともに、今後の日本の社会を担っていく次世代の学生にも参加促進を図り、次世代の創造力溢れ、個性豊かな発想も取り入れた新たな成長戦略を見出します。また、本年度ブロック大会の主管を務める乙訓青年会議所にとって、12年に1度しかないこの機会を大きな可能性を生み出す最高のチャンスと捉え、京都ブロック協議会と連携し、京都ブロック協議会が創り上げてきた運動と京都の魅力を発信できる機会を創出することで、京都に新たな価値を創造致します。そして、その機会から得られた経験を基盤として、市民、行政、諸団体とともに地域独自の魅力を最大限に発揮できるまちづくり事業を創出し、地域に好循環が生まれる持続的な発展へとつなげてまいります。

私たちが未来の道標となり、地域に新たな歴史の1ページを創ってまいりましょう。

### **未来をデザインできる人財の創出**

社会構造の複雑化により、企業の業績も二極化し、低迷、衰退した企業も多く、地域経済にも大きな影響を与えています。しかし、この状況下でも急成長を遂げている企業は、社会の急激な変化に柔軟に対応し、失敗を恐れず挑戦を続けたことで新たなビジネスモデルを確立した企業です。そのような組織には、新たな価値を創造する「未来をデザインする力」があり、日本の未来を牽引していくことが可能な企業です。私たちも未来を牽引する組織となり、地域により良い変化を与えるとともに、地域に新たな価値を創造できる「未来をデザインできる人財」を創出していく必要があります。

地域の発展を目指し、日々活動する私たちも、自身の社業や生活が豊かでなければ人を、地域を幸せにすることはできません。私たち一人ひとりが「未来をデザインできる人財」へと成長し、その人財が結集した組織として、地域や人々に幸せを生み出してまいります。まず、今の時代に必要とされる人財や組織の在り方を明確化し、新たな発想を生み出す柔軟な思考を学ぶことで、個々の資質向上を図るとともに、個々の力が結集した組織の新たな可能性を見出します。そして、近隣の青年会議所と交流を図り、地域の枠を超えた絆を構築するとともに他の組織の魅力を知ること、多様な視点から自身が所属する組織の成長につなげます。さらに、日本の未来を創造していくのは次世代であり、未来をデザインできる人財を地域に増やしていくためにも、次世代育成事業での実体験を通じて創造性や個々が輝く「力」を持続的に育める新たな機会を創出致します。また、青年会議所活動には出向という素晴らしい成長の機会が存在します。そこで得られた経験や人脈こそ、自身の価値観や視野が広がる最高の財産となり、乙訓青年会議所にとっても大きな成長発展の光となります。誰もが平等に与えられた出向という機会を新たな成長の機会と捉え、自ら勇気ある一歩を踏み出せる機会を創出致します。

未来をデザインできる人財や組織を増やし、地域がキラキラと輝く明るい未来を創造してまいります。

### 組織における社会的価値の向上

ICT化や広報ツールの多様化に伴い、情報発信や拡散は容易になり、様々な広報戦略も日々生み出されています。しかし、社会構造が複雑化した現代社会は価値のない情報で溢れ、私たちも本質的な価値を見出せず惰性で運用し、確実な成果が得られていない現状があります。私たちは、今の時代に適応した組織のブランディングを図り、公益法人として組織の社会的価値を高め、地域から真に必要な組織となる必要があります。

私たち一人ひとりがブランディングの本質を理解し、組織のブランディングだけでなく、インナーブランディングも推進することで、組織の存在価値を高めてまいります。まず、広報戦略において、これまでの実績を数値的指標から検証し、地域のニーズや組織の本質的な価値を追求するとともに、デジタルマーケティングを取り入れた新たなメディア戦略を見出します。そして、地域に質の高い情報を発信することで地域からの関心を集め、組織の認知向上を図ります。さらに、乙訓青年会議所の創立を祝う場においては、乙訓青年会議所の今日までの歩みを先輩諸兄姉と祝うだけ

でなく地域にも発信し、組織の理念や運動に共感して頂くことで、組織の存在価値を高めます。また、次世代育成事業においては、各委員会と連携して地域に発信し、私たちの活動に共感して頂くことで、地域からの信頼につなげます。さらに、子どもたちが輝く姿をカタチとして残すことで、子どもたちやご家族の心に残る大切な思い出となり、地域への愛郷心につなげることができると考えます。また、地域に住まう人々が当事者意識を持ち、地域の幸せな未来について真剣に考えて頂くために、多様な技術を最大限に活用した公開討論会を開催し、若い世代も含めた多くの市民の政治参加につなげる環境を構築致します。そして、1年間の集大成として、卒業生がともに活動した仲間や先輩諸兄姉に想いを伝える機会を創出し、組織に好循環を生み出すとともに、会員全員で1年間の成果を讃え合うことで会員の活動意識を高め、次年度につなげてまいります。

組織のあるべき姿を地域に示し、真に必要とされる組織となりましょう。

### **新たな組織体制の基盤を確立**

テクノロジーの進歩は、人々の生活環境やライフワークの変化など社会的、経済的にも大きな影響をもたらしました。青年会議所においてもWEB会議やオンラインセミナーが推奨されるなど、時代の変化に伴い運営方法も日々進化しています。しかし、効率を求めると同時に地域からの信頼性と事業の質を下げない組織運営が重要であり、新たな組織体制から運動を最大化し、地域により影響力の高い運動を展開していく必要があります。

私たちは、組織運営に必要な規律の遵守を理解するとともにその基準や組織体制を見直し、新たな時代に適応した合理的かつ効率的な組織運営にアップデートすることで、入会歴の浅い会員も主体的に活動できる環境を構築致します。まず、役職者が青年会議所運動の本質を再認識し、組織の理念や各役職の役割を共有する機会を創出することで、役職者としての意識向上を図り、質の高い組織運営につなげます。そして、活発に議論が行える有意義な会議運営を推進し、事業の質を高め、地域により大きなインパクトを与える事業を展開致します。さらに、委員会の想いをカタチにする事業計画書においても、資料添付や構成を簡素化することで、より生産性が向上し、事業の本質と調和の取れた計画書へとブラッシュアップ致します。また、公益基準を厳正順守した審査やコンプライアンスを徹底するとともにSDGsに基づいた経済、社会、環境面から事業を検証していくことで、地域により成果が生まれる質の高い運動を展開することができます。さらに、各委員会の1年間の想いや活動内容を共有する機会と、日本青年会議所、近畿地区協議会、京都ブロックへと出向するメンバーの活動を報告できる機会を創出し、全会員が各委員会や出向メンバーの活動に相互協力できる関係を構築することで、組織の連携強化につなげます。そして、1年間を全うした時、ともに活動する仲間に敬意を表し、自分たちの活動に誇りを持って今後の持続的な活動意識を高め、持続的に発展できる組織を次代へとつなげていきましょう。

自己満足で終わる事業ではなく、地域に確実な成果を残すことができる質の高い事業を創出し、地域の想いをカタチに変えていきましょう。

## 誰もが挑戦できる環境を構築

私が青年会議所で出会い、憧れを抱いた人の共通点は、掲げた目標を完遂する決意と情熱を持ち、常に笑顔で周りに接する優しさで溢れた魅力的な人でした。周りには自然と人が集まり、人々にインパクトを与え、時には人生を変えてしまうほどの影響力があります。このような魅力的な人財で溢れる組織へと成長するためにも、まず私たちが影響力のある人財へと成長し、組織や地域の未来を真剣に考え、目指すべき方向を明確に示す道標となる必要があります。

役員としての自覚と責任を持つとともに会員に感謝と敬意を表し、常にポジティブな思考で組織を牽引してまいります。そして、運動の根幹となる活動の楽しさを見出せる機会や誰もが挑戦できる環境を構築することで、組織は持続的に成長し、キラキラと輝き続ける真の組織となるでしょう。

恥ずかしげもなく夢を語り合える情熱と強い絆で組織を輝かせる光となりましょう。

## むすびに

私たちは必ず40歳で卒業し、活動に終わりを告げます。この限られた短い時間を誰とどのように使うかで自身の人生や組織の未来、そして地域の未来も変えることができます。先輩諸兄姉が紡いでこられた青年会議所の軌跡を次代に継承し、誰もが失敗を恐れず挑戦する、真に輝き続ける組織として、地域に本当に必要とされる運動を私たちの手で創ってまいりましょう。幸せな未来のカタチを真摯に希求することが実現への第一歩であり、その実現こそが地域により良い変化を与え、その功績は人々の心に大きなインパクトを与えるでしょう。

キラキラと輝き続ける幸せな地域を生み出そう

キラキラと輝き続ける人財で溢れた組織を創ろう

そして、地域に咲き誇る情熱の花となれ